

国立民族学博物館研究報告別冊 no.014; あとがき

著者	瀬川 昌久
雑誌名	国立民族学博物館研究報告別冊
巻	014
ページ	461-461
発行年	1991-03-29
その他のタイトル	Postscript
URL	http://hdl.handle.net/10502/3574

あ と が き

3年間にわたる〈国立民族学博物館共同研究〉「漢族の地域性とアイデンティティ——中国南部を中心とした整理と分析——」は、本別冊の刊行をもって、当面の目的を達成した。しかしながら巻頭の緒言にもあるとおり、この共同研究が今日まで成功裡に運営された背景には、論文執筆者のほかにも数名の同人各位の終始変わらぬ支持と協力があったことを忘れるわけにはいかない。すなわち小熊誠氏（沖縄国際大学）、川崎有三氏（帝京大学）、君島久子氏（聖徳学園岐阜教育大学）、周達生氏（国立民族学博物館）、田中淡氏（京都大学）、利光有紀氏（国立民族学博物館）、西澤治彦氏（武蔵大学）〔アルファベット順〕の諸氏である。これらの諸氏は、諸般の事情で論文寄稿にはいたらなかったが、通算11回開催された研究集会には熱心に参加し、それぞれの専門分野から有意義な提言や情報提供を行なうなど、共同研究の活性化に寄与するところ大なるものがあった。その意味で本書はこのプロジェクトに参加したすべての同人の結束と努力の結晶にほかならない。この際、上記の諸氏の有形無形の貢献に敬意と謝意を表して「あとがき」に代えたい。

（瀬川昌久）